

## 「授業力 UP5★」を活用した授業改善

### ★資質・能力

- ・育成を目指す「資質・能力」が明確になっているか。
- ・ねらいを達成した児童生徒の姿が具体的に想定できているか。

### ★めあて

### ★学習活動

### ★まとめ 振り返り

- ・主体的に学習に取り組める「めあて」になっているか。
- ・授業で何をするか（見通し）が明確になっているか。
- ・課題解決に向け、個別の学習活動が設定されているか。
- ・自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞き合ったりする協働的な学習活動が設定されているか。
- ・「めあて」に正対した「まとめ」や「振り返り」になっているか。
- ・「何を学習し、何が分かったのか、何ができるようになったのか」等、振り返りの視点が明確になっているか。

### ★端末活用

- ・学習のねらいを達成するための手段として、効果的な活用場面が設定されているか。
- ・端末の活用が、個別最適な学びや、協働的な学びにつながっているか。

例) 中学校 1 年生 国語「トロッコ」

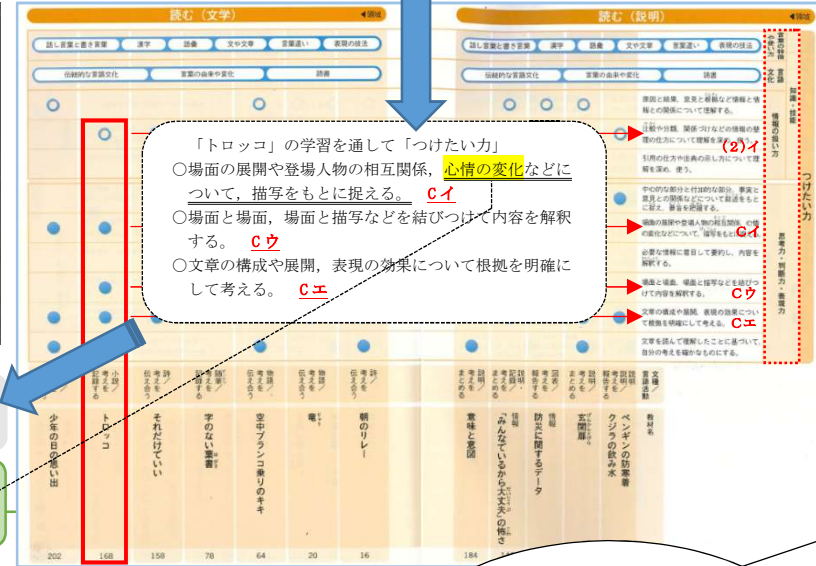


## Step1

★ 育成を目指す「資質・能力」を確認

P6「領域別教材一覧」

教科書を活用！



「トロッコ」の学習を通して「つきたい力」  
○場面の展開や登場人物の相互関係、**心情の変化**などについて、**描写**をもとに捉える。**Cイ**  
○場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈する。**Cウ**  
○文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。**Cエ**

「トロッコ」では…  
【知・技】  
情報の整理(2)イ  
→比較・分類、関係付けなどの仕方を学習。  
(学指要解説 P47)

【思・判・表】  
読むことCイ・ウ・エ  
→精査・解釈についてを学習。  
(学指要解説 P68～70)

学習指導要領との関連



## Step2

単元計画に基づき 1 単位時間の授業を考える

例) 第2時

目標：良平の**心情の変化**を叙述を基に捉える。

前時を想起させて…

### ★「めあて」

「めあて」は、児童生徒にとって本時に何をやるかが分かる段階であり、「本時の学習の確認」です。子どもの「疑問・問題・興味・関心」などを「めあて」に変え、主体的に学習に取り組めるものになっているか、確認します。

### ★「学習活動」

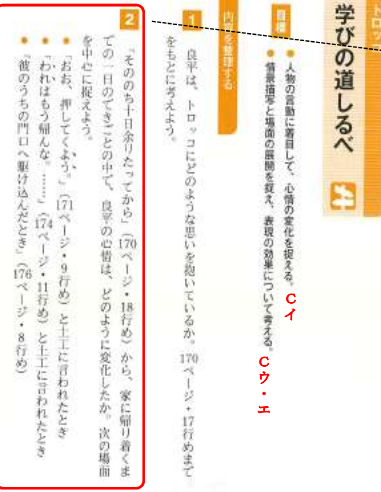
「めあて」を達成するための学習活動を、「個別」「協働」の両視点から設定します。協働的な学習を充実させるためには、児童生徒の「対話」が必要です。意見交換を活発に行わせ、よりよい考えを導き出すための「発問」を準備しましょう。

### ★「まとめ」 「振り返り」

「まとめ」は、対話・協働を通じて学んだことの整理や確認を行うことです。「振り返り」は、学びの自分化です。本時の学びを自分のものとして定着させたり実感させたりすることが大切です。

P178「学びの道しるべ」

教科書を活用！



### 「振り返り」を充実させよう

#### ★振り返りの視点を明確にする

- ・ 学習内容について  
例) 何が分かったか
- ・ 学び方について  
例) 本時の学習方法について
- ・ 次時へのつながり  
例) 次の時間に何をしたいか
- ・ 他教科との関わり
- ・ 友だちとのかかわり 等

### C・D 層を意識する!!

- ・全員が参加したくなる「めあて」
- ・オクリンクでヒントカードを送るなど、個別の学習活動に対する支援
- ・端末で子どもの考えを一括で把握し、つまづきから展開する授業 など

### ★「端末活用」



ポイントは…

活用場面の精選

個別最適な学び  
+  
協働的な学びの促進

授業後は…

## Step3

「振り返り」を次時の授業づくりへ活かす

「振り返り」から見えた子どもの学びの実態を、授業や指導の改善につなげる！

↓  
育成を目指す「資質・能力」が子どもに身についたか

授業 1 時間 1 時間の  
短いスパンで  
**PDCA サイクル**を回す！